

(記入例)

計 量 士 資 格 認 定 申 請 書

年 月 日

計量行政審議会会長 殿

申請者 住所  
氏名

次のとおり、計量法第 122 条第 2 項第 1 号に掲げる者と同等以上の学識経験を有する者と認められたいので、申請します。

1 生年月日

昭和〇年〇月〇日

一般計量士は特別教習修了日、環境計量士は一般教習修了日を記入すること。

2 計量教習所の課程を修了した年月日

令和〇年〇月〇日

3 環境計量士（濃度関係）又は環境計量士（騒音・振動関係）の資格認定を受けようとする者にあつては、環境計量特別教習（濃度関係）又は環境計量特別教習（騒音・振動関係）を修了した年月日

令和〇年〇月〇日

申請区分が環境計量士の者で該当する者のみ記載する。

4 計量に関する実務に従事した期間及びその実務の内容

例) 環境計量士の場合

平成〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日（〇年〇ヵ月）

（但し、計量教習期間 5 ヲ月を除く）

〇〇〇（株） 計量管理の実務（別表第一第二項のイ）

例) 一般計量士の場合

平成〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日（〇年〇ヵ月）

うち、質量計に関する実務期間 平成〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日（〇年〇ヵ月）

（但し、計量教習期間 5 ヲ月を除く）

〇〇〇（株） 計量管理の実務（別表第二第二項のイ）

必ず記載すること。合算の実務期間については教習期間を控除した期間を記載する。